

すべての人間を操れる男 **V**S 唯一、操れない男

大群衆を巻き込む二人の<モンスター>の壮絶な闘いの行方は—?

ひと目見るだけで、すべての人間を思いどおりに<操れる男>と、唯一<操れない男>。対立する能力を持って生まれた宿命の二人が出会ってしまった時、生死を懸けた壮絶な闘いが幕を開ける—!

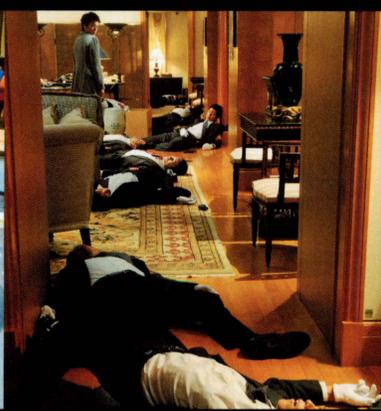
操れる男は、必要な時だけ力を発揮し、たった一人で静かに生きてきた。彼は絶望の闇に包まれた孤独な人生が、死ぬまで続くと思っていた。唯一操れない相手が目の前に現れるまでは—。彼の名は、田中終一。普通の青年にしか見えないが、彼もまた特別な能力を秘めていた。瀕死の重傷や病氣も数日で完治する、驚異の回復力と強靱な肉体を持っているのだ。“男”は思い通りにならない終一に怒りを燃やし、彼の大切な人を死に追いやる。復讐を誓う終一と、終一の抹殺を決意する“男”。“男”は自由自在に大群衆を操り、終一はひとりでそれを迎え撃つ。果たして、生き残るのはどちらか? そして、闘いの果てに明かされる、驚愕の結末とは—?



中田秀夫監督 + 藤原竜也 × 山田孝之
日本映画界最高のスタッフキャストで放つ
新時代のサスペンス・アクション
エンターテインメント!

今や日本映画を背負って立つ二人の俳優の、初共演にして熱い激突が実現した! <操れる男>には、『DEATH NOTE デスノート』『カイジ』とメガヒット作が続く藤原竜也。『墓の楯 わらのたて』はカンヌ国際映画祭コンペティションに公式選出され、世界からも注目された。<操れない男>終一には、数々の話題作に出演、全く違う顔で観客を魅了し、最近では『凶悪』で激賞された山田孝之。そして、終一を慕う叶絵役の石原さとみがスクリーンに可憐な華を添え、さらに木村多江、松重豊、田口トモロヲら演技派が物語にリアリティを与えた。

監督はハリウッド進出も果たし、世界の映画界に刺激を与え続ける、『インシテミル 7日間のデス・ゲーム』『クロユリ団地』の中田秀夫。脚本は、『20世紀少年』『GANTZ』シリーズ『進撃の巨人』で、大興奮のアクションとドラマを描いた渡辺雄介。広大な都心を舞台に、街を歩きかう大勢の人々が“男”に操られ、一瞬で殺人兵器と化するノンストップアクション! 最後の瞬間まで観る者の予想を裏切り続ける圧倒的なサスペンス! まさに“新時代のエンターテインメント”と呼ぶにふさわしい超大作が、ついに出現—!



Z タイトル『MONSTERZ』が意図するものは…

なぜ、複数形なのか—
操れる男がモンスター=怪物だけではなく、操れない男もまたモンスターなのか?
異常な力を持った彼らを怖れる人類こそが、モンスターなのか?!

なぜ、SではなくZ?
究極、極限、絶対、終焉=“Z”
出逢うべきではなかった二人の人生が交差する時、
“究極の結末”を迎える!